

# スコール協会・ボランティアセンター 今年度の協力状況

ボランティアセンターでは、協力者の皆様から届いた収集物と会員が集めたものを併せて整理・集計し、支援先に送っています。昨年度の会員の収集実績は右の表のとおりです。

平成30年度は6月に、未使用ハガキ5300枚を学校法人アジア学院へ送付しました。

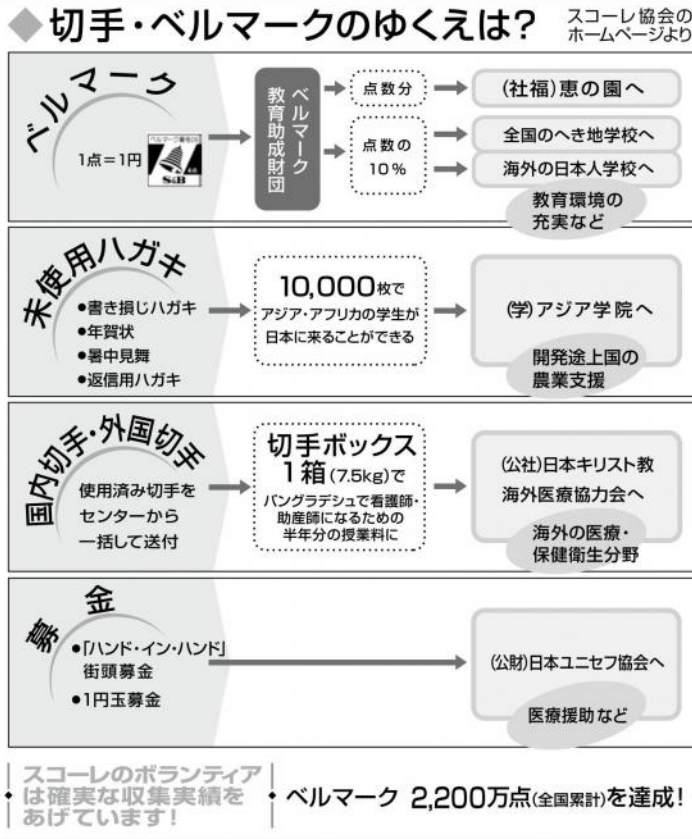
使用済み切手は12月に1箱を、公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会へ送りました。3月までにまた、同会及び社会福祉法人

聖明福祉協会へ、合わせて10箱程を発送する予定です。ベルマークの社会福祉法人への支援は7年目になります。昨年度までで累計197万点に達しており、12月13日に約26万点を送付したことを以て、念願の200万点を突破しました。支援から3年目で100万点を達成してから、200万点に至るまで4年を要したので、喜びも格別です。恵の園からはベル



板谷事務局長からの絵手紙

マーク預金でプロジェクトを購入したとの報告を頂き、後援会事務局長・板谷彪様から心のもった素敵な絵手紙のお礼状が届きました。ご協力くださった全の方に厚く御礼申し上げます。



昨年8月2日(木)、横浜市緑区の地域拠点「タマカフェ」で第2回「夏休み親子ボランティア体験」を開催。大人17名、子供5名が参加して使用済み切手の整理をしました。

作業中は皆でしりとりを楽しみながら手を動かして子供たちは、アニメキャラクターや動物の切手を見つけては大喜びしていました。2歳のお子さんと参加したママからは、「この雰囲気の中に、もっとたくさん娘と一緒に身を置きたい」との感想が。善意と笑顔あふれる素敵なひとときを過ごしました。

富山 富山西保健福祉センターにおいて、「第29回ふれあい広場in婦中」(富山市社会福祉協議会婦中支所等主催)が開催されました。富山地区の参加は7回目となります。

今年は富山西高等学校の生徒8名と引率の先生が整理に参加してくれました。昨年に引き続き参加された方もあり、この地域での収集ボランティアが定着した感があります。



富山西高等学校の皆さん

小田原 昨年7月11日(水)、おだわら市民交流センター UMECOで開催された「市民活動出張講座『ボランティアってなあに?』」に、活動団体として参加。この講座は、私立中学校の生徒にボランティア活動への関心と参加意欲を持ってもらうことを目的に行なわれた催しです。市内にある45のボランティア団体からスコール協会を含む3団体が選ばれ、それぞれがその活動を紹介しました。

栃木 昨年5月より、瑞穂野工業団地協同組合から大量の使用済み切手の仕分けを引き受けることになりました。先方は「仕分けに手がまわらず困っていた」とのこと。栃木地区は「役に立てる喜びでいっぱいです」と、8月も猛暑にも負けない熱いボランティア精神で作業に励みました。



中学生に説明をする 宇佐美克子さん

## ココロを紡いで、一歩前へ

## 収集協力の皆さんのお便り

◆平成も終わる新しい年が、どうも戦争のない明るい世界になりますよう、皆さんと祈りたいです。世界には、飲み水さえ、まともに口にすることが難しい人たちがいることを忘れずに過ごしたいものです。  
(栃木県日光市・M)

◆ベルマークがなかなか集まらないのでご無沙汰しておりましたが、孫が持って来てくれたので、少しですが送ります。  
(石川県白山市・T)

◆昨年夏から初秋にかけて、自然災害の連続で、心を痛めてばかりでした。募金くらいしかできなくても、被災地の力となってくればと、少し気持ちが救われています。被災された方々の一日も早い復興を願います。  
(青森市・O)

◆記念切手の発行はすく多いのに、この頃、手紙があまり来なくなり、使用済み切手がなかなか集まりません。時代の流れでしょうか。昔の切手を整理して、やっとこのくらいです。  
(神奈川県横須賀市・T)

◆コッコツと集め、早く送らなくてはと思いつながら月日がたつてしまいました。使用済み切手とベルマークを送らせていただきますね。  
(東京都町田市・I)

◆昨年は災害が多く、被災した方々の状況が懸念されます。「平穏無事」に生活できることが、いかに貴重であることか。こちらの収集ボランティアに参加してから30年になります。今年、日本では「〇〇元年」になりますが、人々が穏やかに過ごせることを願ってやみません。  
(神奈川県横須賀市・U)

### 公益社団法人スコール家庭教育振興協会

#### 2017年度の主な収集実績

*ベルマーク	249,247.75 点
*使用済み切手	199.716kg
*未使用ハガキ	4,906 枚
*ユニセフ募金	1,595,529 円
(ハンド・イン・ハンドの分)	
*1円玉募金	14,471 円

上記の集計以外に地区ごとで開催するバザー等の売上金を活かして地域協力が行われています。